

## 平成25年 年頭の挨拶

以上を踏まえて、平成25年の当連合会の活動といたしましては、第一にPR活動の継続と強化であります。特に今年は一般缶を容器として使用している商品を広く世の中に再認識していただく方策のひとつとして、さまざまな一般缶商品を業界関係者の皆様、及び家族の方々に広くご利用してい

新年明けましておめでとうございます。皆様方には、ご健勝で新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、昨年の東日本大震災からの復興の年として期待された一年でしたが、世界経済の変調、領土問題をめぐる中国、韓国との関係悪化等、日本を取り巻く環境も大変厳しいものとなりました。経済は相変わらずデフレが続き、一部ユーザーの中には他素材容器に移行する動きがまだにあり、業界を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあると認識しています。

## 年頭の挨拶



定村 光

全日本一般缶工業団体連合会 会長  
東日本一般缶工業協同組合 理事長

## 逆境の今こそ連帯して需要喚起活動を

ただき、業界内部から需要を喚起する活動を中心に進めていく方針です。まずは我々の足元から需要の波を広げていかなければなりません。第二は小学生、中学生など将来の消費者の主力になる子供たちに一般缶の特性を知ってもらい一般缶に小さいときから馴染んでもらい、将来的な一般缶の需要の喚起につなげていきたいと思います。

## 年頭所感

## 鉄鋼産業の成長と安定供給を期待

経済産業省製造産業局  
鉄鋼課長 山下 隆一

平成25年の年頭に当たり、謹んでお慶びを申し上げます。

昨年は、円高や電力問題など、国内事業環境は引き続き厳しい中、世界経済の減速傾向が強まり、その一方、アジアを中心に鉄鋼業の生産能力は増え続けたため、急速に過剰供給構造に陥ることとなりました。こうした背景の下、韓国・中国等とのグローバルな競争の時代に突入し、それに伴い、市況は低迷し、国際的な保護主義も強まってきております。

こうした中、鉄鋼業界が今後も継続的な成長を実現していくためには、鉄鋼業だけでなく、鉄鋼の重要な供給先である我が国製造業、我が国産業が強靱であることが重要です。そのためにも、我が国の産業は、高齢化等の課題先進国として、新たなステージに向けたチ

地方自治体、学校関係にもこの活動を働きかけていく方針です。

一般缶を取り巻く状況は一層厳しくなっておりますが、「逆境」のときこそ、業界が連帯を求められている時です。この二つのテーマを中心に今年も当連合会は活動してまいり所存ですので、皆様方のご理解ご協力を切にお願いいたします。

最後に今年一年が皆様方にとりまして、「明るい年」であることをお祈り申し上げます。そして、新年のご挨拶とさせていただきます。

ヤレンジを通じた成長とともに、海外の成長を広く、積極的に取り込んでいくことが必要です。

鉄鋼業としても、まずは、「徹底的な経営基盤の強化」が重要です。内需を確実に取り込み、海外需要を獲得していくためには、経営基盤を強化し、国際競争力の維持・強化を図らねばなりません。生産・流通体制の集約化・効率化を図ることによりコスト競争力を強化するとともに、高度な製品開発を加速化させることが重要です。昨年は象徴的な経営統合がありました。今後、競争力強化に向けた再編等の動きを支援するとともに、輸送機器等の軽量化に資する革新鋼板の開発や、異種材料の接合・複層化技術などの開発に、官民あげて取り組む予定です。さらに、国内事業環境の整備に向け、イコールフットイング上問題となる税制等の見直しや物流インフ

ラ整備等に注力してまいります。

第二には、「世界の成長を取り込む海外へのビジネス展開」が重要です。韓国・中国等との競争が激化する中、成長するアジアの鉄鋼需要を獲得することは我が国鉄鋼産業の成長の鍵です。ユーザー産業の戦略や技術流出のリスク等を踏まえ、どの工程を国内に残し、どの工程を海外展開するか、国別・製品別にきめ細かい海外戦略の構築が重要です。JBIC・NEXI等を活用し、皆様の海外展開を円滑に進める環境整備を図ってまいります。

第三には、「グローバルな自由貿易体制への貢献」が重要です。世界的な市況低迷、新興国の鋼材供給能力の急激な拡張等を背景に、近年、アジア地域において様々な保護貿易措置が拡大しています。引き続き、二国間の「鉄鋼対話」等を活用し、各国との相互理解と協力を通じた通商摩擦の回避に努めながら、WTO等国际ルールに基づく自由貿易体制の重要性を各国に訴えてまいります。

第四には、「原材料確保への官民での対応」が重要です。資源メジャーの寡占、中国等の需要急増を背景とした原料価格の高騰や、資源ナショナリズムの高まりを背景とした輸出制限等の動きが顕在化しています。自主権益の確保等による原料の低廉かつ安定的な確保に向けて、JOGMEC・JBIC等の活用、政府間の対話等を進めてまいります。

そして、第五には、「エネルギー・環境問題への対応と挑戦」が重要です。我が国鉄鋼業は、既に世界最高水準の省エネを達成しており、更なる省エネ余地は乏しい状況です。こうした中、引き続き、海外への省エネ技術移転の促進や二国間オフセットクレジット制度の構築等に取り組むとともに、中長期的な

抜本的CO<sub>2</sub>排出削減を目指し、水素を用いて鉄鉱石を還元する技術等の革新的技術開発に、官民一体となって取り組んでいきます。

本年も鉄鋼業を取り巻く環境は、決して楽観することは出来ません。円高やエネルギー制約等に関しては、今後も中長期的に続く可能性も指摘されています。しかしながら、例えば円高メリットを最大限に活かした海外拠点の拡充や鉱山権益投資、またコスト削減のための設備集約など、現在置かれた状況下で、講じておくべき攻めの取り組みを行うなど、今こそ、したたかな戦略が期待されています。政府の対応も待たなれどであり、我が国の産業がイコールフットリングでグローバルに競争できる環境の実現に向けて、時間軸とプライオリティを踏まえた政策の集中投下が重要です。

我が国の鉄鋼業は、国内の生産・流通・加工・販売に至るまで強靱なサプライチェーンによって、我が国のものづくり産業の競争力の根幹を支えている重要な基礎素材の供給者です。同時に、最高水準の鋼材を、建設・エネルギー・鉄道等々の社会インフラ向けに、幅広く世界に供給することで、人類の安心・安全・便利な社会を支えるという重要な役割を果たしています。

本年も安全操業に最大限配慮いただきながら、安定供給を継続いただくことを期待しております。さらに、電力需給の安定に向け、常日頃、電力供給・電力使用両面にわたって大変な御協力をいただいていることについても、この場をお借りし、厚く御礼を申し上げます。最後に、鉄鋼業界のますますの御発展と、皆様方の御健康、御多幸を祈念いたしまして、私の新年の挨拶といたします。

## もの造りのロマンを追い続けよう

西日本一般缶工業協同組合

理事長 渋谷 明彦



### 年頭の挨拶

新年明けましておめでとうございます。皆様には、ますますご健勝にて新年をお迎えになられたことと存じます。

政権が交代して、何かしら明るさを感じられる新年を迎えました。巳年。お金がたまると聞いております。今年は、ひとつ今までは違った姿へと脱皮しましょう。金属容器の良い所、悪い所をはつきり見据

え、新商品の開拓、製造方法の変革に結びつけましょう。

今年は、お伊勢さんで20年に一度の「式年遷宮」が催されます。1300年以上続いた技術を継承する素晴らしいシステムです。これからの会社を経営していく上で、何を継承していかなければいけないのか。また職人の技を、アトからサイエンスにできないのかを考え実行していきましょう。大いに議論しましょう。情報・技術を大いに共有していきましょう。良い製品、造るよろこび、届ける誇りをモットーに、もの造りのロマンを追い続けましょう。それぞれの企業にとって、良い年であり、ますよう祈念して、新年の挨拶とします。

## 「出来ることはみんなやる」の気概で

中部製罐工業協同組合

理事長 池田 祥三



### 年頭の挨拶

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様並びに関連業界の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えになられたことを、謹んでお慶び申し上げます。旧年中は組合運営につきましてご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、国の政治、経済ともに先行き不透明な、かつ閉塞感が漂う

厳しい状況が続く、いろんな難題を抱えた年でした。それでも年末の政権交代で気分的には少しは前向きになったのではないかと思います。速やかな景気回復は無理でも、失われた3年半を少しでも取り戻せるようにと期待はしていますが、経済のインフレ目標を設定した結果、原料インフレ・製品デフレにならないように願うばかりです。今年は缶の需要を喚起するように全日本一般缶工業団体連合会ではいろんな企画をしています。我々の出来ることはみんなやる

## 互いに知恵を出し合い更なる繁栄を

全日本金属印刷工業協同組合連合会

会長 中田 正和

### 年頭の挨拶



2013年の新春を迎え謹んで新年の御挨拶を申し上げます。顧客先業界を始め、金属印刷業界及び関連業界の皆様方にも、ご健勝にて、新年を迎えられたこと心からお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、一昨年に発生した東日本大震災の被害影響をいかに回復させるかが政治、経済の最も要求された重要案件でした。年初に誕生した野田改造内閣は施策が空回りに終始し、5月には全国原発50基がすべ

という気概を持って今年一年を乗り越えていきたいと思っています。会員の皆様ともども手を携えて3Rとスチール缶の良さをもっとアピールしていきましょう。年末には実体経済も明るさを取り戻して本当の笑顔になりますよう、会員・賛助会員会社並びに業界に関係される皆様方の更なるご支援・ご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のますますのご活躍とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

ととまり、われわれ産業界に与えたエネルギー問題は一向に改善されませんでした。また、近隣の中国、韓国との領土領海をめぐる摩擦問題が勃発し、日本経済に大きな打撃をあたえました。

一方そうした中で、当組合事務所近隣に世界一の高さ634メートルの東京スカイツリーが約3年半をかけ堂々の完成を見ることがとなり、また一つ東京の名所が誕生いたしました。8月のロンドンオリンピックでの日本代表選手の活躍、10月の京都大の山中教授の「iPS細胞」によるノーベル賞受賞など明るいニュースもありました。

政治の世界に目を向けますと、12月の第46回衆議院選挙により自民党が圧勝し第2次安倍内閣が誕生いたしました。当分の間は、景気対策一本に的を絞る、全力を挙げるところの方針を打ち出しており大いに期待するところであります。又世界を見わたしてみますと、ロシアのプー

チン首相、フランスのオランド大統領、エジプトのイスラム主義のモルス大統領、アメリカのオバマ大統領の再選、中国の習総書記そして最後は韓国の初代女性大統領の当選と各国のリーダーが交代いたしました。何とか今までの流れを改革すべく、国民の期待感が国の元首に求められている結果ではないでしょうか。

金属印刷業界も昨年後半より景気の陰りを受け、需要減を余儀なくされた次第です。こうした動向の中で、缶容器的の需要減に歯止めをかけるべく、一般缶組合の皆様をはじめとして18リットル缶組合様、日本製缶協会様、ドラム缶工業会様、キャップ協会様そしてリサイクル協会様とともに我々金属印刷業界の面々も一緒になつて力を合わせてこの荒波を乗り越え、道を切り開いていかなければならないと考えております。昨年は、一昨年に続き10月の「2012東京

## 「活力」ある体制作りの強化を推進

一般缶友会

会長 齋藤 光由

### 年頭の挨拶



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、日頃より格別なるご高配をいただきまして厚く御礼申し上げます。

2012年を振り返りますと、混迷を続

国際包装展「12月の「エコプロダクツ2012」」に出席協力をいたしました。また、11月22日に開催された大阪金属印刷工業協同組合の設立60周年記念に参加させていただいたわけですが、3年後の東京金属印刷工業協同組合の設立60周年記念式典が華やかに行われるべく金属印刷業界の発展に力を注ぐ所存でございます。

製缶業界様の繁栄なくして当業界の繁栄はありません。情報の交換、アイデアの共有などお互いに知恵を出し合い車の両輪として更なるご協力をさせていただく所存でございます。

最後にこの紙面をお借りしまして、特に我々鉄鋼製品団体協会の元でもある経済産業省鉄鋼課様を中心として国を挙げて経済の不況打破にお力をいただきたくお願い申し上げます。皆様方のますますのご健勝を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

ける政局、近隣諸国との外交緊迫、長期的な不透明感に包まれた経済など、様々なりスクが顕在化したように感じられました。

こうした環境の中で、今求められているものは「活力」ではないでしょうか。言葉の意味は、「活動を生み出す力」とあります。会員の皆様と共に、力を合わせこの閉塞感を打ち破り、確かな一歩を踏み出していきたいと、気持ちを新たにしております。

製缶に限らず日本経済全体に、欧米経済低迷による影響、エネルギー価格の高騰など懸念材料が山積する現状でございます。だからこそ、収益力強化、コスト削減など

継続努力を土台に「活力」を持って取り組み、業界全体が確実に前進できることを心より願っております。

「缶」容器の「なくてはならないもの」という価値を一人でも多くの方に知っていただくための努力も忘れてはならないことです。同時に、現状に甘んじることなく、新しい付加価値の探求への取り組みも課題の一つと考えられます。そのためにも定期

開催いたします勉強会などでの会員間の積極的な意見交換の重要性を痛感いたします。今年も会員の皆様と一丸となり、時代にあったニーズを的確に把握し、お客様に喜んでいただける製品を提供できる「活力」ある体制づくりの強化を推進して参りましょう。最後になりましたが、本年が皆様方に実り多く、健康で幸せな一年となりますよう心より祈念申し上げます。

全日本一般缶工業団体連合会 平成25年新年賀詞交歓会を開催

定村会長

## 「一般缶の失われた市場の回復をめざす」



挨拶する定村会長

全日本一般缶工業団体連合会は1月18日、浜松町東京會館で平成25年新年賀詞交歓会を開催、東日本組合同員、西日本組合同員、特別会員、特別賛助会員、一般賛助会員、協力会員、賛助会員など179名が出席した。杉浦由記夫理事の司会で進行し、冒頭、定村光会長は「一般缶の生産量は昨年、前年対比で100%を割る状況で、依然缶離れが続く。これに歯止めをかけるには色々な施策が必要だが、昨年12月から『一般缶商品購入キャンペーン』を始めた。缶の需

要を高めるため、まずは業界の我々自身から缶商品購入の波を作っていく。かつてJRの前身の国鉄が個人旅行客を増やすため『デイスカバージャパン』というキャンペーンを行った。我々のキャンペーンもまさにこれと同じコンセプトだ。言うなれば『デイスカバー一般缶』だ。失われた市場をもう一度回復できるよう、皆様方にご協力をお願いしたい。当連合会自身もあらゆる機会に缶商品を使っていく。今年は年明けから景気が上向くような期待感はあるが、待っているだけではなく失敗を恐れず自ら行動していかなければいけない。成功の反対は『何もやらない』ことと認識し、この一年を邁進していきたい」と挨拶した。

来賓を代表し、経済産業省製造産業局鉄鋼課の山下隆一課長が、定村会長の挨拶を聞いて自分自身、缶商品を進んで買うこと

## 平成25年新春 組合互礼懇親会を開催

西日本一般缶工業協同組合は1月16日、

東心斎橋大成閣で平成25年新春の組合互礼懇親会を開催、組合同員会社など17名が出席した。冒頭、渋谷理事長は「政権が変わり何かしら、明るさが少し見えてきた感じがする。巳年は、お金がたまると言われ、小さい時に財布にへびの抜け殻を入れておいた覚えがある。巳年で思い起こせば60年前、その当時、日本の人口は、8700万人、大卒の初任給は9200円で、今では、人

口は1.5倍、給与は約22倍と増えている。今年はお伊勢さんにおいて、20年に1度の式年遷宮が行われる。1300年以上続いているこれほどの物づくりの技術の継承はないと思う。私も一般缶も、より良い製品『造る喜び』、届ける誇り、物づくりのロマンを追い続けて行きたい」と挨拶した。その後、乾杯し、なごやかに歓談が行われ、辻副理事長の中締めで散会した。

西日本一般缶工業協同組合

を誓ったと前置きし「このところ円高修正、株価上昇で経済の雰囲気かい。産業界の置かれた状況は本質的にはまだ厳しいので相当の努力が必要。新政権は事業規模で20兆円超の緊急経済対策を決め、税制面でも経済を支えていく方針。2012度の補正予算の中身は、①復興・防災②成長による富の創出③暮らしの安心・地域活性化の三本柱で構成されている。これから成長に向けた施策を産業競争力会議で練り上げ参院選前までに出す予定。新政権では皆さんの意見を聞く姿勢で舞台裏が整えられている。業界からいろいろな知恵や情報を出していただき、できる限りの支援を行ってきたい」と挨拶した。

から開始。今年度秋と冬に缶商品のあつせん販売を行い、いずれも1千缶以上の成果を上げた。今後も継続的に行う。また、社内1万人に対し、メールマガジンを送る。『スマート!!CANニュース』という名前、なるほど一般缶とか、そうだったのか缶詰缶などの情報を発信していきたい」と挨拶し、乾杯の音頭をとり新年を祝った。歓談ののち、渋谷明彦副会長が中締めの挨拶を行い散会した。



賑やかな新年賀詞交歓会の様子

# 謹賀新年

(順不同)

## 北海製罐株式会社

代表取締役社長 田村秀行  
東京都千代田区丸の内二二二  
丸の内三井ビル  
電話〇三(三二一三)五一八〇  
FAX〇三(三二一三)五一二六

## 新日鐵住金株式会社

代表取締役社長(COO)  
友野 宏  
東京都千代田区丸の内二二六  
電話〇三(六八六七)四一一一

## 全日本一般缶工業団体連合会

会長 定村 光  
副会長 渋谷明彦  
副会長 池田祥三  
東京都台東区浅草橋五一四一五  
ハシモトビル8F  
電話〇三(三八六六)七三八八

## JFEスチール株式会社

代表取締役社長 林田英治  
東京都千代田区内幸町二二二三  
日比谷国際ビル  
電話〇三(三五九七)三一一一

## 東日本一般缶工業協同組合

理事長 定村 光  
東京都台東区浅草橋五一四一五  
ハシモトビル8F  
電話〇三(三八六六)七三八八

## 東洋鋼板株式会社

代表取締役社長 田中厚夫  
東京都千代田区四番町二二二二  
電話〇三(五二一一)六二一一

## 西日本一般缶工業協同組合

理事長 渋谷明彦  
大阪府大阪市北区天神橋一四一七  
千代田第一ビル10F  
電話〇六(六三三三)一九七三

## 東洋製罐株式会社

代表取締役社長 金子俊治  
東京都品川区東五反田二一八一一  
電話〇三(四五五四)二〇〇〇  
FAX〇三(三三三八)八一一一  
e-mail toyoseikan.co.jp/inquiry/form.html

## 中部製罐工業協同組合

理事長 池田祥三  
愛知県瀬戸市安戸町一三一八  
電話〇五六一(八四)四八五八

## 全日本金属印刷工業協同組合連合会

会長 中田正和  
東京都墨田区業平一一二一六  
本所ビル二階  
電話〇三(三六二六)二四一一  
FAX〇三(三六二六)二五〇一  
e-mail info634@tokyo-metallicprinting.org

## 寺島製缶工業株式会社

代表取締役 定村 光  
東京都葛飾区立石二二五一一  
電話〇三(二六九三)〇八四一  
FAX〇三(二六九四)七七五九

## 株式会社ヒロハマ

代表取締役社長 本多三郎  
東京都墨田区石原二二八一一  
電話〇三(三六二五)一六八〇  
FAX〇三(三六二五)一六八八  
e-mail y-hirohama@cap-hirohama.com

## エヌエス金属工業株式会社

代表取締役社長 中田則彦  
茨城県つくば市緑ヶ原四一六  
電話〇二九(八四七)七二二〇  
FAX〇二九(八四七)六七七九

## 江戸川製罐株式会社

代表取締役 加島 裕  
東京都江戸川区平井五一四六一九  
電話〇三(三六一二)四一一一  
FAX〇三(三六一七)五〇三四

## 金方堂松本工業株式会社

代表取締役社長 竹内雅夫  
東京都台東区東上野一一二八一一  
電話〇三(三三三一)一一九一  
FAX〇三(三三三一)七一一四  
e-mail tokyo-eigyau@kinpodo.co.jp

## 古茂田製罐株式会社

代表取締役 古茂田隆文  
東京都台東区台東一六一六  
電話〇三(三三三一)一一三六  
FAX〇三(三三三五)一一二四  
e-mail komodaseikan@viola.ocn.ne.jp

## 齋藤製罐株式会社

代表取締役 齋藤光由  
神奈川県横浜市瀬谷区本郷一一四六一八  
電話〇四五(三三〇)五九一一  
FAX〇四五(三三〇)五九三五  
e-mail info@saitoseikan.co.jp

## 株式会社神宮製作所

代表取締役 神宮善太郎  
千葉県野田市上三ヶ尾二六一  
電話〇四(七二五)一一六一  
FAX〇四(七二五)三六三七  
e-mail jingu@alpha.ocn.ne.jp

## 杉浦製罐株式会社

代表取締役 杉浦由記夫  
茨城県守谷市百合ヶ丘二一四八〇七  
電話〇二九(七四八)二五五一  
FAX〇二九(七四八)二五二一  
e-mail sugiura-info@sugiura-seikan.com

## 大日製罐株式会社

代表取締役 東郷洋次  
東京都千代田区外神田二一六一二  
電話〇三(三二五五)三二八一

## 東邦金属工業株式会社

代表取締役 澤田武史  
東京都江戸川区松島四一三七一六  
電話〇三(三六五四)八九一一  
FAX〇三(三六五五)七三三八  
e-mail info@tohometal.co.jp

## 中川製罐株式会社

代表取締役社長 中川太郎  
東京都文京区湯島三一六一一三  
電話〇三(三八三六)〇六九一  
FAX〇三(三八三六)〇六九三  
e-mail info@nakagawa-can.co.jp

## 日進製缶株式会社

代表取締役 小黒保満  
埼玉県八潮市南後谷五〇八  
電話〇四八(九三五)三五六一  
FAX〇四八(九三一)一八四九  
e-mail nixtusin@maple.ocn.ne.jp

## 水戸部製缶株式会社

代表取締役 水戸部武寿  
東京都千代田区神田和泉町一一三一  
電話〇三(三八六六)一一六六  
FAX〇三(三八六六)一三八八  
e-mail sales@mitobe.co.jp

## 明和金属工業株式会社

代表取締役 渋谷明彦  
大阪府高石市取石七五一六  
電話〇七二(二七四)一一〇一  
FAX〇七二(二七四)一六三六  
e-mail shibux@meiwa-can.jp

## 三國金属工業株式会社

代表取締役 辻 亘彦  
大阪府豊中市豊南町西四一七一〇  
電話〇六(六三三三)〇二五一  
FAX〇六(六三三三)〇二五五  
e-mail mikunikinzoku@nifty.com

## 平和製罐株式会社

代表取締役 中田成一  
大阪府泉南市りんくう南浜三一七  
電話〇七二(四八二)〇一〇〇  
FAX〇七二(四八二)〇一〇五  
e-mail info@heiwa-seikan.co.jp

# 謹賀新年

(順不同)

## 新高垣製缶株式会社

代表取締役 高垣悦夫

奈良県天理市永原町五五  
電話 〇七四三(六六七)三三三  
FAX 〇七四三(六六七)三三三  
e-mail takagaki@shinatakagi-can.co.jp

## 高野興業株式会社

代表取締役社長 高野康弘

東京都墨田区本所一 二二一三  
電話 〇三(三六二)一一六六  
FAX 〇三(三六二)六二六四  
e-mail takano@dance.ocn.ne.jp

## 大成ブリキ印刷株式会社

代表取締役社長 中田正和

茨城県稲敷郡河内町長竿富田四四六二  
電話 〇二九七(八六)二二〇一  
FAX 〇二九七(八六)二四二〇

## 株式会社N・P・W技研

代表取締役社長 山本健士

三重県伊勢市佐八町八九四  
電話 〇五九六(三九九)一一三三  
FAX 〇五九六(三九九)一一三六  
e-mail sales@npw-jp.com

## 生野金属株式会社

代表取締役 小西克彦

大阪府高石市高砂三二二四  
電話 〇七二(二六八)〇七七七  
FAX 〇七二(二六八)〇七八二  
e-mail info@ikumo.co.jp

## 善友金属株式会社

代表取締役 馬場康之

大阪府大阪市淀川区加島四一〇一四四  
電話 〇六(六三〇)四〇三三  
FAX 〇六(六三〇)二二〇〇  
e-mail contact@zenyu-kinzoku.co.jp

## 富安株式会社

代表取締役社長 伊藤潤一

東京都墨田区太平四一五一五  
電話 〇三(五六一)七七五一  
FAX 〇三(五六一)七七五〇  
e-mail shigeru.kokubu@ioniyasu.co.jp

## 東都金属印刷株式会社

代表取締役 菅谷誠一

千葉県船橋市小野田町二五二一三  
電話 〇四七(四五七)五四六一  
FAX 〇四七(四五七)七二三八  
e-mail totometal@nyc.odn.ne.jp

## 株式会社三友機械製作所

代表取締役 徳永一廣

静岡県焼津市大住一 二二一  
電話 〇五四(六二九)四九〇〇  
FAX 〇五四(六二九)二二五九  
e-mail info@sanyumachinery.com

## 江戸川製罐工業株式会社

代表取締役 渡邊 静雄

大阪府大阪市鶴見区今津北一 一七三三八  
電話 〇六(六九六八)六七六一  
FAX 〇六(六九六八)三二五八

## 光工業株式会社

代表取締役社長 吉田 富美男

広島県東広島市志和町冠一 一六五一二  
電話 〇八二(四三三)五四〇一  
FAX 〇八二(四三三)五四五三  
e-mail yfhikari@enjoy.ne.jp

## 中村商事株式会社

代表取締役社長 中村 定

東京都千代田区神田和泉町一 一七一  
電話 〇三(五六八七)五九一一  
FAX 〇三(五六八七)六一五五

## 富安金属印刷株式会社

代表取締役 菊井 治

埼玉県草加市苗塚町五七七  
電話 〇四八(九二五)一五八一  
FAX 〇四八(九二八)二六二〇

## 株式会社日本化学研究所

代表取締役社長 福本日出男

東京都中央区京橋一 一六一三  
電話 〇三(三五六四)五一六一  
FAX 〇三(三五六四)五一六五  
e-mail sales@nikkaken.co.jp

## 大阪製罐株式会社

代表取締役社長 清水浩一

大阪府東大阪市岩田町二 一三二一八  
電話 〇六(六七二)五五四五  
FAX 〇六(六七二)三四七〇  
e-mail shimizu@osaka-seikan.co.jp

## 山雄製缶工業株式会社

代表取締役 山本浩之

大阪府大阪市北区大淀中 五 一一二四  
電話 〇六(六四五)五一四一  
FAX 〇六(六四五)〇八二二

## 明邦鋼業株式会社

代表取締役社長 田中 康

埼玉県越谷市新川町一 一四四五  
電話 〇四八(九八七)〇七〇一  
FAX 〇四八(九八七)〇七三〇

## 二橋プリント株式会社

代表取締役 二橋 英之

埼玉県三郷市彦川戸一 一三八一六  
電話 〇四八(九五三)二二六六  
FAX 〇四八(九五三)五四二一  
e-mail futahashi@kvp.biglobe.ne.jp

## 松本金属工業株式会社

代表取締役 松本勝俊

大阪府大阪市北区天満二 一 二一八  
電話 〇六(六三三)〇九四三  
FAX 〇六(六三三)七六四〇

## 奥村製罐株式会社

代表取締役 奥村 康彦

京都府綴喜郡井手町大字多賀 小字西松ヶ花一  
電話 〇七七四(八二二)〇七八  
FAX 〇七七四(八二二)四三二四

## 株式会社ライトハウス

代表取締役 岩橋 久直

大阪府大阪市鶴見区今津中 一 一四一三四  
電話 〇六(六九六三)〇四四一  
FAX 〇六(六九六八)二九九八

## スチールリーフ株式会社

代表取締役社長 茂木孝之

東京都葛飾区亀有五 一四八一五  
電話 〇三(三六二)八〇三〇  
FAX 〇三(三六二)八〇六〇  
e-mail mogi@steel-leaf.co.jp

## 株式会社城北鍼力

代表取締役 竹腰忠臣

千葉県野田市木間ヶ瀬二五〇一 一  
電話 〇四七(一九八)二六一一  
FAX 〇四七(一九八)二七七九

## 株式会社井上博商店

代表取締役社長 井上 紀人

大阪府大阪市住吉区万代東一 一 一四〇  
電話 〇六(六六九)一一二五  
FAX 〇六(六六九)一一二七  
e-mail honsha@inoehiroshi.com

## 下宮金属工業株式会社

代表取締役 下宮 義弘

大阪府堺市堺区南島町三丁 一三一  
電話 〇七二(二二三)八一二〇  
FAX 〇七二(二二三)八一四〇  
e-mail info@shinomiyu.co.jp

## 日東製罐販売株式会社

代表取締役 安藤 宏行

愛知県岡崎市宮地町字郷東三九  
電話 〇五六四(五一)一五六一  
FAX 〇五六四(五一)一五六三  
e-mail soumu@nitocan.com

## エイコー株式会社

代表取締役社長 菊井 治

埼玉県草加市苗塚町五七七  
電話 〇四八(九二二)八三七三  
FAX 〇四八(九二二)八三七五

## 株式会社江連金属印刷所

代表取締役 江連 一

千葉県松戸市上本郷八一  
電話 〇四七(三六二)〇一三五  
FAX 〇四七(三六二)八七一五

## 新キヨイ鋼業株式会社

代表取締役 渡邊 治樹

大阪府松原市三宅西四 一五四三一  
電話 〇七二(三三三)二一八一  
FAX 〇七二(三三三)〇二五二  
e-mail info@kiyoicorp.com

# 謹賀新年

(順不同)

## 是松鋼商株式会社

代表取締役 是松 重敏

大阪府東大阪市楠根二一六一三  
電話 〇六(六七四八)二三六一  
FAX 〇六(六七四六)〇四〇〇  
e-mail info\_kosyo@korematu.co.jp

## 三幸商事株式会社

代表取締役社長 武田 有広

大阪府大阪市西区北堀江一一二一一四  
電話 〇六(六五四一)三五八五  
FAX 〇六(六五三九)二四一五  
e-mail eigyo@steelsan.co.jp

## 株式会社 神 光

代表取締役 小河 薫

大阪府吹田市南正雀一一二八一  
電話 〇六(六三八一)四四六六  
FAX 〇六(六三八一)六〇一一  
e-mail shinko@shinko-litho.co.jp

## 日東金属工業株式会社

代表取締役 大久保 八城

大阪府八尾市太田七一一六  
電話 〇七二(九四九)六七一一  
FAX 〇七二(九四九)六七五九

## 西部容器株式会社

代表取締役 川島 湊

大阪府摂津市別府二一三一八  
電話 〇六(六三四九)一六五一  
FAX 〇六(六三四九)七二二八  
e-mail info@seibuyouki.co.jp

### 一般缶友会 工場見学 レポート

「JFEスチール(株)西日本製鉄所福山地区の工場見学を終えて」  
**環境保全に配慮した技術開発が  
勉強になりました。**

東都金属印刷(株) 中尾 誠

平成24年11月9日、一般缶友会主催のJFEスチール(株)西日本製鉄所工場見学に参加させて頂きました。

総勢20社21名が参加し、広島県福山駅よりJFEスチール(株)様の社用バスで迎えに来ていただき工場へ向いました。

まず初めに事務所会議室でご挨拶、本日のスケジュール、工場概略説明、ビデオ説明があったあと、ヘルメット、作業着、ゴーグル、



## 株式会社伊賀井商店

代表取締役 大岩 憲正

愛知県東海市南柴田町の割三八一三  
電話 〇五二(六〇三)五五九一  
FAX 〇五二(六〇三)五五九五

## 株式会社キャプテン

代表取締役 出崎 克

東京都中央区日本橋茅場町  
ビルックス茅場町四階  
電話 〇三(五六一四)四七五五  
e-mail info@captain-inc.com



工場見学に参加された皆さん—敷地内の高台から

無線案内装置を着用し、再度バスで900万㎡という広大な工場に移動しました。途中、石炭や鉄鉱石の原料ヤードを横に見ながら、高炉へと案内されました。

こちらでは、制御室で原料である鉄鉱石、コークスを高炉にて製鉄という鋼のもとを取りだし不純物を取り除き粘りのある鉄「鋼」を作るところまでをボードで説明を受けました。その際、鉄鉄が出てくる現場を少し見ることができ真つ赤な鉄が流れてくる様は壮観でした。

次にこの見学のメインでもある熱延工場へ再度バスで移動しました。こちらでは2階の見学通路を移動しながら製鋼されたスラブという羊かん状の鉄の塊が工程を進みながら薄く長い熱延鋼板コイルがどんどん出来上がるところを見学しました。

学通路まで熱気が伝わってきて迫力も満点でした。

次にバスで冷間圧延工場に案内されました。こちらでは残念ながらメンテナンス中とのことで実際の稼働は見る事が出来ませんでした。こちらの工場では熱延鋼板を洗浄、調整圧延を行い、さらに圧延し0.14mm〜3.2mm厚の冷延鋼板を作る工場のことでした。

次にバスで向かったのは表面処理工場です。こちらの工場も稼働しておらず実際の作業は確認できませんでした。この工場ではメッキ処理を施しサビに強い表面の美しい表面処理鋼板が出来上がるのでした。

次に敷地内の高台に案内され福山地区工場を一望させて頂きました。この高台は以前、現天皇陛下が皇太子時にお見えになった際、新設された場所、このような機会であれば通常は社員も入れないとのことでした。高台よりの景色はともなう、日本の産業の一角を担っている工場だということを改めて認識しました。

最後に事務所会議室へ戻り質疑応答を行い一日の予定を無事終了致しました。

今回、工場見学を通じてJFEスチール(株)西日本製鉄所様が製造過程で発生する電力や水、酸素などを再利用するなど環境保全に細心の注意を払い、技術を開発し貢献し続けていることについて大変勉強させて頂きました。最後に、通常ではなかなか経験できないこの工場見学を企画された幹事・ご手配して下さい下さった方々に深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

# グループ討議で 業界活性化の手がかりに

全日本一般缶工業団体連合会は、平成24年10月12日、大阪市淀川区宮原のメルパルク大阪会議室で、第37回全国流通委員会・部会協議会を開催した。今回は西日本組合が当番となり、27名が出席。西日本の山田事務局長の司会で進行、渋谷副会長が開会を宣し定村会長が挨拶した。このあと、各組合代表による近況報告、一般缶PR活動推進協議会報告及びグループ討議が行われた。

## 〈各組合代表による近況報告〉

### 中部・池田理事長

\*今年はチャイナリスクで経済が冷え込んでいる。

\*デパートでは、地下売り場は活況を呈しているが、上階へ行けば行くほど客足は減少。店頭での対面販売は落ち込み、地下売り場でも缶商品は少ない。

### 東日本・定村理事長

\*東日本地区の景況はあまり芳しくない。7～9月期の売上動向では、前年同期比100%を割り込み、平均で96%。

\*今年は街の再開発が盛ん。渋谷ヒカリエ、東京ソラマチ、東京駅舎リニューアルなどショッピング施設が大幅に増えたが缶に結びつくものが少ない。今後は地域に

根ざしたイベントも必要。

### 西日本・渋谷理事長

\*関西地区の上期（4～9月）の営業売上げは前年同期比で100%を超えるところに落ち着く見込み。塗料関係は好調であったが、化学・ギフト関係は落ち込んだ。鋼材価格はどうなるのか、輸入物はどうなるのか、等々の意見を聞き組合活動の参考にしたい。

## 〈一般缶PR活動推進協議会報告〉

広浜委員長が今後の新規PR活動について説明した。

### ①「一般缶商品購入キャンペーン」の実施

平成24年9月、JFEスチールの缶用鋼板営業部が缶容器の菓子購入を社内PR、千缶以上の注文があり、社内あげて一般缶の需要喚起に取り組まれた。わが業界も組合員会社を中心とする関係先を対象にお歳暮等で一般缶商品購入を働きかけ、その結果がフィードバックされる形で実施する。

### ②学校教育との連携

\*学校関係との関わりを深めていく。例えば、生徒の工場見学受入れ対応可をホームページに載せてPRしたり、卒業記念に「おめでとう缶」を贈るなど。

## グループ討議での主な意見

### ①今後の鋼材市況（含輸入鋼材）の動向

\*輸入材は全体的に品質、対応に不安があり、増やすつもりはない。

\*輸入材は印刷の色調など問題があるが、価格面で検討の余地がある。

\*輸入材は品質の問題があるのでパーツ類で徐々に使う。

### ②展示会の有効活用とその効果等

\*展示会は、もっと楽しく何か体験できる場を作り、メディアにも注目されることを考える。

\*展示会に代わるものでは、学校向けチラシを作ったり、各地の物産展を活用する。

\*製造ラインの状況や金属印刷の工程などを収めたビデオを流す。

\*巻締めの展示も行い、その技術をアピールすることで他素材の関係者にも関心をもってもらう。

### ③一般缶に対する不満、不安等の解消策

\*缶に対する消費者の不満が、捨て場に困るとか、回収頻度が少ないということなので、コンビニ等に回収ボックスを置いてもらう。

\*ロットの問題では、自ら敷居を高くしているくらいがあるので見直す必要がある。

### ④一般缶需要喚起のための新市場開拓

\*ギフトは減っていないので、若い世代のイベント的なものに関わる企画をしたらどうか。

\*缶を小型化して一見おしゃれで、ケータイのデコレーションなど、オリジナルな商品を考えてどうか。



活発な討議が行われた流通委員会

### ⑤全国流通委員会・部会協議会のあり方

\*組合員会社の工場見学を年1回東西交互に実施し、交流する場を作ることによって組合員相互のコミュニケーションを深めたらどうか。

\*新企画として、2～3社の自社プレゼンを行う。プレゼンした会社の得意分野などを再確認できるし、自社にとってもプラスになる。

### ⑥一般缶材質表示マークの使用

\*中国製品にスチールマークが使われている。無断使用を防止するため、品名、表示等、その実態を早急に調査する必要がある。

\*組合を脱退した後もスチールマークもどきを使うケースもある。罰則規定を作る必要がある。

一般缶缶友会 平成23年度通常総会を開催

一般缶缶友会は平成24年8月28日、東京都中小企業振興公社会議室で平成23年度通常総会を29名の出席のもとで開催した。

二橋英之副会長の司会進行で始まり、齋藤光由会長が挨拶し、高木嗣夫副会長が出席状況報告を行った。議長に齋藤会長が選ばれ、提出された議案を審議した。

(1)平成23年度事業報告及び決算報告承認の件、(2)平成24年度事業計画及び収支予算決定の件はそれぞれ原案通り決定した。(3)役員改選の件は、次の通り選任され、それぞれ就任を承諾した。理事 齋藤光由・高木嗣夫・二橋英之・小林達生・

◆東日本一般缶工業協同組合

CPSM会

平成24年11月7日、筑波カントリークラブで第53回CPSM会を開催した。今回の参加者は23名

成績は次の通り。

優勝 高木嗣夫 (大日製罐)

二位 志賀正人 (エヌエス金属)

三位 二橋英之 (二橋プリント)

次回は平成25年4月17日、鷹の台カントリー倶楽部で行う予定。

一般缶缶友会ゴルフコンペ

平成24年10月14日、かさまフオレストカントリークラブで第7回ゴルフコンペを開催した。今回の参加者は15名

成績は次の通り。

優勝 菖蒲勝憲 (東都金属印刷)

44・46・90・15.6・74.4

ゴルフ会を開催した。成績は次の通り。優勝 植中俊夫 (大日製罐)

二位 辻本年克 (ライトハウス金属工場)

三位 清水雄一郎 (大阪製罐)

\*次回は平成25年11月に行う予定

平成24年8月から  
平成25年1月までの行事

【東日本一般缶工業協同組合】

平成24年 8/2 第1回東日本一般缶PR活動推進協議会

9/11 第4回理事会(役員会)

9/14 東京中央会「中小企業トップセミナー」

9/18 第2回東日本一般缶PR活動推進協議会

9/19 東京中央会「情報連絡員報告会」

9/28 東部十八リットル缶工業組合三役との懇談会

10/17 分科会打合せ

10/26 CPSM会打合せ

10/22 東京中央会「平成24年度表彰式」

10/22 東京都紙器工業協同組合三役との懇談会

10/30 分科会「技術講習会」

11/2 事務局長協会「職員交歓会」

11/5 第3回東日本一般缶PR活動推進協議会

11/7 第53回CPSM会

11/21 第5回理事会(役員会)

11/21 忘年会

平成25年 1/8 東京中央会「新年賀詞交歓会」

1/8 東京都紙器工業協同組合「新年会」

1/18 第6回理事会(役員会)

【西日本一般缶工業協同組合】

平成24年 8/3 役員会

10/4 4S会

10/12 全国流通委員会・部会協議会(大阪)

10/30 缶友会ゴルフ

11/21 SKT会ゴルフ

11/30 SKT会ゴルフ

12/7 役員会

平成25年 1/10 大阪金属印刷工業協同組合「新年互礼会」

1/16 組合新春懇親会

1/29 合同部会・技術交流会

【全日本一般缶工業団体連合会】

平成24年 8/8 三役、経済産業省新任鉄鋼課長へ挨拶

10/2 2012東京国際包装展「全国流通委員会・部会協議会(大阪)」

10/12 第1回全日本一般缶PR活動推進協議会

10/24 スチール缶リサイクル協会「エゴプロ2012出展ブー

12/7 役員会

平成25年 1/10 大阪金属印刷工業協同組合

1/16 組合新春懇親会

1/29 合同部会・技術交流会

【全日本一般缶工業団体連合会】

平成24年 8/8 三役、経済産業省新任鉄鋼課長へ挨拶

10/2 2012東京国際包装展「全国流通委員会・部会協議会(大阪)」

10/12 第1回全日本一般缶PR活動推進協議会

10/24 スチール缶リサイクル協会「エゴプロ2012出展ブー

11/14 鉄鋼製品団体協会「本州製罐(株)結城工場見学会」

11/27 スチール缶連絡協議会

12/7 日本鉄鋼連盟「鉄鋼月報調査改正説明会」

12/13 エゴプロダクツ2012

平成25年 1/9 三役年開始挨拶回り

1/10 ドラム缶工業会「新年賀詞交歓会」

1/17 全国十八リットル缶工業組合連合会「新年賀詞交歓会」

1/18 第2回全日本一般缶PR活動推進協議会

1/18 新年賀詞交歓会

【二般缶友会】

平成24年 8/21 会計監査

8/28 平成23年度通常総会

9/10 理事会

9/10 JFEスチール(株)西日本製鉄所工場見学会

12/4 理事会・忘年会

平成25年 1/25 理事会・新年会

【東日本一般缶工業協同組合】

2/13 東部十八リットル缶工業組合三役との懇談会

7月までの行事予定

【東日本一般缶工業協同組合】

2/13 東部十八リットル缶工業組合三役との懇談会

7月までの行事予定

【東日本一般缶工業協同組合】

2/13 東部十八リットル缶工業組合三役との懇談会

7月までの行事予定

【東日本一般缶工業協同組合】

2/13 東部十八リットル缶工業組合三役との懇談会

7月までの行事予定

【東日本一般缶工業協同組合】

2/13 東部十八リットル缶工業組合三役との懇談会

7月までの行事予定

【東日本一般缶工業協同組合】

2/13 東部十八リットル缶工業組合三役との懇談会

7月までの行事予定

【東日本一般缶工業協同組合】

2/13 東部十八リットル缶工業組合三役との懇談会

7月までの行事予定

組合伝言板

《社長交代》

(東日本組合)

代表取締役社長 松本 剛

平成24年9月

(東日本特別会員)

代表取締役社長 城座隆夫

平成24年7月

《社名変更(合併)》

(特別賛助会員)

新日鐵住金(株) (旧新日本製鐵(株))

《住所変更》

(東日本協力会員)

新里機工(株)

本社・東京都荒川区東尾久

電話 〇三(六八〇七) 一一九一三

FAX 〇三(六八〇七) 六七七六

工場・東京都足立区鹿浜四一九一三

電話 〇三(三八五三) 七一五〇

FAX 〇三(三八五三) 七一五五

電話 〇三(三八五三) 七一五〇

FAX 〇三(三八五三) 七一五五

# 「現場で役立つ電気の基礎」に参加して——水戸部製缶株式会社 江尻 孝

平成24年10月30日、すみだ中小企業センターのご協力により、技術分科会主催の技術講習会「現場で役立つ電気の基礎」が開催され、7社11名で参加しました。

講師の同センター八巻技術相談員から非常に解り易く教えて頂きました。講習内容として、①「電気」とは—回路・交流・直流・電圧・電流②スイッチの構造上の種類、接点の種類「A接点・B接点」等③テスターを安全かつ装置を壊さないための基本的な使い方④リレーの基礎—原理から使い方⑤電気制御の基本回路である自己保持回

路を様々なバリエーションで配線図等から実配線を行う方法などを学びました。

講習参加を振り返って、NCではない一般の凡用工作機械は電気制御さ

れていることから、これらの基礎を理解することは重要であると感じました。また、ある程度の電気トラブルであれば、テスターを安全に使うことにより、自ら対処できるので、時間ロスや電気技術者等のコスト削減にも貢献できると思いました。



熱心に受講する参加者の皆さん

孝

## 全日本一般缶工業団体連合会

### 「東京パック」「エコプロ」に出展—一般缶を大いにPR!

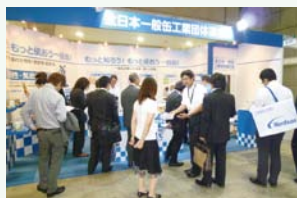
全日本一般缶工業団体連合会は、一般缶PR事業活動の一環として、東京ビッグサイトで開催された2大展示会に出展した。

#### 「2012東京国際包装展」(東京パック) (24.10.2~5)

「もっと知ろう、もっと使おう一般缶」をキャッチフレーズに、優れた特性の1つ「密封性・気密性」を強調し、そのイメージをアピールするため、食品等中身入りの一般缶を中心に展示。来場者数は、前回は上回る6万5千人。当ブースでは2千セット用意したパンフレット、スライドケース入りの袋はすべてなくなる盛況ぶりでした。

#### 「エコプロダクツ2012」(24.12.13~15)

例年通りスチール缶リサイクル協会、全国十八リットル缶工業組合連合会と共同で出展。来場者数は、前回は若干下回る17万8千人。当ブースにも午前中から午後にかけて小中学生が押し寄せクイズに挑戦。最終の土曜日は家族連れで混み合い、3日間にわたり、エコに貢献する「一般缶」をPRした。



多くの方が訪れた東京パック2012



賑わいを見せたエコプロダクツ2012

## 平成24年4月~11月迄の一般缶生産出荷実績 (単位:t)

|          | 年 月   | 生 産              | 出 荷              |              | 在 庫              |
|----------|-------|------------------|------------------|--------------|------------------|
|          |       |                  | 販 売              | その他          |                  |
| 経済産業省データ | 24. 4 | 6,982<br>(6,942) | 6,851<br>(6,959) | 102<br>(209) | 8,713<br>(7,263) |
|          | 5     | 6,350<br>(7,370) | 6,432<br>(7,079) | 124<br>(148) | 8,551<br>(7,366) |
|          | 6     | 6,459<br>(7,074) | 6,511<br>(6,941) | 139<br>(157) | 8,394<br>(7,278) |
|          | 7     | 6,448<br>(6,533) | 6,576<br>(6,347) | 119<br>(180) | 8,182<br>(7,282) |
|          | 8     | 5,522<br>(5,802) | 5,730<br>(5,780) | 97<br>(141)  | 7,983<br>(7,153) |
|          | 9     | 6,235<br>(6,067) | 6,066<br>(5,876) | 128<br>(152) | 8,146<br>(7,179) |
|          | 10    | 6,513<br>(7,175) | 6,114<br>(6,847) | 127<br>(113) | 8,450<br>(7,360) |
|          | 11    | 6,873<br>(7,677) | 7,211<br>(7,597) | 116<br>(178) | 7,962<br>(7,259) |
| 連合会データ   | 24. 4 | 3,879<br>(4,239) | 3,867<br>(3,961) |              | 3,757<br>(4,001) |
|          | 5     | 3,755<br>(3,695) | 3,684<br>(3,641) |              | 3,822<br>(3,977) |
|          | 6     | 4,025<br>(4,180) | 3,910<br>(4,223) |              | 3,978<br>(3,826) |
|          | 7     | 3,975<br>(3,737) | 4,024<br>(3,747) |              | 3,871<br>(3,840) |
|          | 8     | 3,710<br>(3,580) | 3,794<br>(3,616) |              | 3,820<br>(3,795) |
|          | 9     | 3,876<br>(3,881) | 3,819<br>(3,716) |              | 3,938<br>(3,853) |
|          | 10    | 4,484<br>(4,429) | 4,299<br>(4,309) |              | 4,049<br>(3,927) |
|          | 11    | 4,513<br>(4,743) | 4,504<br>(4,898) |              | 4,034<br>(3,754) |

( )内は前年同月実績

経済産業省経済産業政策局調査統計部鉱工業動態統計室編(鉄鋼統計月報より)

## 全日本一般缶工業団体連合会

### 一般缶商品購入キャンペーン実施中

全日本一般缶工業団体連合会は昨年12月から「もっと使おう、贈り物もイッパンカン」を合い言葉に一般缶商品購入キャンペーンを実施中です。私たちの生活の一部を支えている「缶入り商品」。その優れた機能性や美



しさをもっと世の中に広めていくため、まずは一般缶業界に関わりをもつ人たちが、すすんで缶入り商品を購入していただくという趣旨で始めました。春夏秋冬、色々なシーンで贈り物を選ぶ機会はたくさんあります。その際にはぜひ缶入り商品をお選びください。

#### 「缶入り商品」を自社で手作り—(有)鳥居製缶

(有)鳥居製缶(本社:静岡市、社長鳥居廣氏)では毎年、お年賀用に「缶入り商品」を自社で作っている。自社の缶を必ず使うことを原則に社員の中で企画し中身は金平糖、煎餅、落花生、タオルなど何でもOK。受け取られた方から「どこで売ってるの?」と聞かれることもあり、「限定非売品」ながら本当に新規受注がとれたこともあるそうです。今年は自社製のサークル缶に手作りラベルを貼りこれまた手作りのクッキーを入れて作った=写真。同社では「多くの缶は贈答向けに作られているので機会があればいろいろな場面で使ってみたい」(鳥居社長)と自ら缶の需要拡大に取り組んでいる。

